

【アンケート集計結果より】

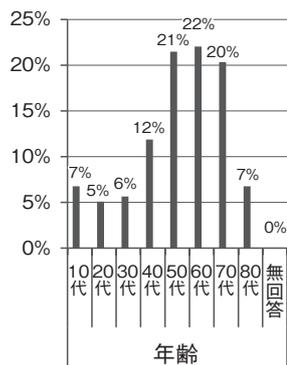
横浜市史料資料室では、昨年の夏展示会と展示関連講演会を企画・開催しました。ここでは、会場で実施しましたアンケートの集計結果と皆さまからお寄せいただいた感想・ご意見などの一部を紹介します。

〈平成二八年度展示会〉

豊かな海と暮らし・金沢区柴の昭和史
担当 平野正裕
平成二八年七月一日～九月二二日

横浜市では明治後期から戦後にかけて工場用地造成のため大規模な海面埋め立てがなされ、沿岸の漁場が失われていった。展示では、現在も盛んに漁を営んでいる金沢区柴町の沿岸漁業の取り組みを戦後高度成長期に技術革新があった海苔養殖を軸に紹介し、環境に合わせて変容する地域のありさまを紹介した。

- ・入場者五三七七人 回答者数一七七人
- ・見学者は六〇代が二二%、次いで五〇代二一%、七〇代二〇%でした。
- ・見学者の八六%が横浜市内在住です。



の内訳は金沢区が三七%、中区一〇%でした。

- ・見学に来られた動機は、「タイトルにひかれて」三三%、「横浜の近代史に興味があるから」二八%、中央図書館来館中に「たまたま開催されていた」一八%でした。
- ・展示の評価はとても良かった四八%、良かった四四%、と好評でした。

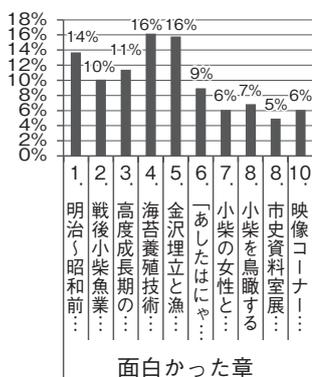
〈面白かった章について〉

見学者の方々が特に面白いと思った章を記入して頂きました。

- 一番だった章は、海苔養殖技術の「高度成長」と金沢埋立と漁業権の喪失の章、二番目は、明治～昭和前期の横浜市場漁業と小柴の章でした。

〈ご感想より〉

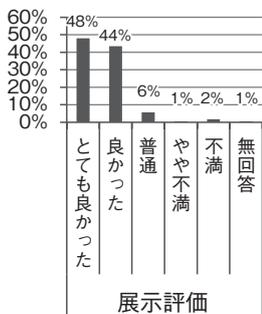
- ・小さい頃から横浜に住んでいるが正直横浜についてあまりよく知らない。せっかく歴史もあり新しい部分も共存している横浜に住んでいるのでもっと横浜について知らなければと展示を見ながら思った。漁業の歴史がわかった。(一〇代・神奈川県)
- ・漁業の歴史をかき見れた気がして感動した。埋め立てによる漁業権の喪失のところは悲しくなった。積み



- ・重ねた智慧と工夫のたまものである海苔養殖の技術をこの展示により学ぶことが出来よかった。(二〇代・港南区)

〈ご意見より〉

- ・資料を残すことに大きな意味があるというのがよくわかる展示でした。(二〇代・神奈川県)
- ・写真やグラフがたくさん掲示されていて、文章がわかりやすく当時の様子や風情がよくわかる展示会だと思います。(三〇代・戸塚区)
- ・今工場地帯である場所が全て埋め立てであることを写真で見せることが出来てよかった。(四〇代・磯子区)
- ・昭和四〇年以降の数年に海苔漁業が生産量を拡大させていたのは意外でした。写真資料は貴重で良かったです。(四〇代・川崎市)
- ・まさに歴史の一端を知りましたが、その他の地域の歴史も知りたいと思います。(四〇代・港南区)
- ・今のように開発される前の漁村の雰囲気が残っている小柴がなつかしかったです。(五〇代・磯子区)
- ・近くに住んでいましたが、歴史を知りませんでした。(五〇代・港南区)
- ・小柴の歴史を知れてよかった。写真



- ・や映像等がなつかしいものもありとてもよかった。(六〇代・金沢区)
- ・富岡の海岸が見れて懐かしく…あのまま良かったと思う。(七〇代・旭区)

〈ご意見より〉

- ・埋め立てによる地形の変化を地図で示して欲しかった。また、昔の写真の場所が現在のどのようになっているか比較した写真があると良かった。大きな写真の横に現在の地名がわかる略図が欲しかった。
- ・映像コーナーを音声付にするとか充実させたらどうか。
- ・もっと写真があったら良かったと思う。ちよっと文章が多かった。写真やイラストを入れたほうが見やすかった。
- ・小中学生には少し難しい。
- ・文字が読みづらかった。

〈ご要望〉

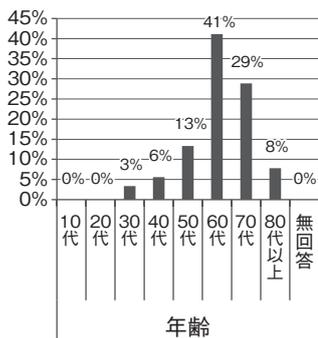
- ・パネルを小冊子にしてほしい。
- ・写真はホームページで見られるようにしてほしい。
- ・まとまった資料などがあるか。参考資料の場所があるといい。
- ・この展示は、金沢区役所等、金沢区内でまだできないか。もっと多くの人に見て欲しい。(特に金沢区民や学校等)
- ・市内では、みなとみらい21やY150に重点が置かれ、後で移住した人を受けられるかも知れないが古くから住んでいる者としては今回の展示は新鮮に感じた。もっと広報等で大きく発表してほしい。また、博物館と連携してより詳しい内容の展示会をして

- ・ほしい。
- ・金沢埋立に関して同様の展示を希望。
- ・横浜各地の明治～昭和の同様の展示を望む。

講演会
横浜の漁業とその変容
 平成二八年八月二八日
 午後一時三〇分

- ・横浜の海面埋立と漁業の歴史
- ・田中常義氏（元横浜市港湾局理事・港湾整備部長）
- ・暮らし、海とともに―柴漁業の歴史の変遷 平野正裕（横浜市史資料室主任調査研究員）
- ・「小柴の海苔づくり」上映・解説

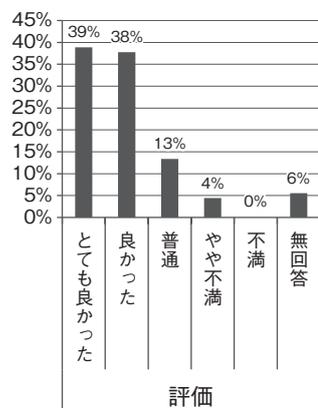
- ・小山紀雄氏（元横浜市漁業協同組合組合長）
- ・参加二一人アンケート回答者九〇人
- ・年代は、六〇代四一％、七〇代二九％、八〇代八％でした。
- ・参加者内訳は、横浜市内在住が九一％、そのうち金沢区四二％、港南区一〇％でした。
- ・参加動機は「地元を歴史を知りたいから」三九％、「横浜の近現代史に興味・関心がある」二二％、「横浜の漁業に関心がある」一九％でした。



- ・評価は、とても良かった三九％、良かった三八％、普通一三％、やや不満四％、不満は〇％でした。

〈ご感想より〉
 ・横浜の埋立と漁業、今まで知ることもなかった内容で興味深かった。海苔づくり初めて知りました。（六〇代・神奈川区）

- ・戦後の近代化に伴って海が大きく変わっていき姿がよくわかった。今後金沢の海がどう変わっていくのか見守っていきたい。（六〇代・金沢区）
- ・豊富な資料（地図）から埋立地の変遷がよくわかった。漁法の変遷についても理解が深まった。海苔の生産工程がよくわかった。（七〇代・南区）
- ・行政側の施策について証言が聞けたのが良かった。（六〇代・金沢区）
- ・海苔づくりの映像が素晴らしく貴重な記録だと思います。（六〇代・中区）
- ・同様意見多数
- ・貴重な映像でした。海苔だけでなく周囲の風景も興味深く見せて頂きました。（八〇代・金沢区）
- ・細かいところまで解説して頂いてとても素晴しかったです。当事者のお話はやはり貴重です。（五〇代・東京）



〈ご意見より〉

- ・女性が海苔の養殖に多く関わっているためその当時の女性の視点での話も聞きたかった。
- ・横浜の漁業全体（歴史）について説明して欲しかった。
- ・最後に現在の海苔の生産状況（やり方、どこまで生産しているのか）などのまとめがあればもっとよかった。
- ・現在の小柴の漁業のについても知りたかった。
- ・他スクリーンに映し出された資料の見えにくさ、文字の大きさ、色、音声の聞き取りにくさ、室内温度等についてもご指摘がありました。

〈ご要望〉

- ・子供たちにも見せてほしい。
- ・分野に限らず今回のように過去の記録、特に映像を紹介してほしい。
- ・直接質問できる時間を設定してほしい。
- ・他写真やCDで販売してほしい、文書にまとめてほしいという声がありました。



〈まとめ〉

今回の展示会は、金沢区柴町を取り上げました。
 展示会は、一〇代から八〇代の幅広い年齢層の方にご見学いただきました。住んでいても学ぶ機会の少ない横浜の漁業の歴史について知ることができて良かった。と言う声が聞かれました。
 また、市史資料室の展示会では初めて、映像を上映しました。映像を見てなお一層懐かしく感じた方もいらっしゃったようです。

展示会の見学者総数は、昨年より減少しましたが、展示評価は高評価でした。地域性の強い内容だったため、一般の方の関心は低かったけれど、地元の方には、満足して頂けたことがわかります。

講演会は、金沢区とその近隣の区から、六〇代、七〇代を中心とした方々が地元の歴史を知りたいという気持ちで多く参加されました。特に「小柴の海苔づくり」の上映・解説は大変好評でした。

アンケート回答にご協力していただいた皆さまのご意見等を今後の企画に生かしてまいります。

ご要望にありました金沢区内での展示は、昨年一月二日横浜市漁業協同組合柴支所、今年の一月二日「金沢区の伝統産業（海苔づくり）を知る」金沢公会堂多目的室で展示されました。
 なお、展示会等の内容は、平成三〇年三月末に報告書として刊行される予定です。
 （川原照美）

開架資料紹介 『横浜の町名』

横浜の町名の由来や、町の成り立ちを知りたい時に、まず手に取るべき文献がこの『横浜の町名』（横浜市市民局）である。一九八二年・一九九一年・一九九六年の三度刊行されている。町名とその境界の変遷は複雑で、その概略を知り、また現在と過去の町名を確認するには、たいへん便利な文献である。

おおむね記載内容は踏襲されているが、一九九一年刊行の際に改訂され、最新の情報を補うと共に、町名によっては記載がより詳しくなったものもある。ただし、多くの町名では、近世および明治期の変遷は省略され、昭和期以降の変遷が中心となった。

したがって、大正期以前の変遷を知りたい場合には、一九八二年発行を見るのがよい。また、一九八二年発行では、一四ページにおよぶ「総論」が、地名・町名に関する概説となっている。横浜の地名・町名の近世以来の変遷について、概略を知ることができる。

現在の地名の元となっているのは、近世以来の村名や字名である。近代に入ると、一八八九（明治二二）年の市制・町村制の施行にともない、多くの町村合併が行われ、新たな町村名の命名が行われた。

その後、関東大震災の復興の過程で、

横浜でも町界町名地番整理が、大正期末から昭和戦前期にかけて段階的に実施された。これによって、町名が変わり地番も変わった地域もある。また、市域合併や埋立によって、新たな町名も増えた。それらの概略は、『横浜の町名』で知ることができ、地番ごとの詳細は、各時期の『地番整理調査』（横浜市中央図書館所蔵）で確認できる。

さらに、横浜の町名を変える大きな契機となったのが、一九六〇年代以降に行われた住居表示の実施である。実施地区の多くでは、町名から「町」が省かれたり、新たな町名がつけられ、丁目が使用されるようになった。

住居表示の実施は、市内で徐々に行われ、平成に入ってから実施された地域もある。こうした住居表示実施による町名の変化は、一九九一年および一九九六年発行に詳しい。

なお、現在に至る住居表示実施状況を確認するには、各地区の住居表示旧新対照表（横浜市中央図書館所蔵）があり、横浜市のホームページでもご覧いただくことができる。（羽田博昭）



『横浜の町名』1982年

《市史資料室たより》

【横浜市史資料室 室内展示コーナー】
軍事郵便と体験手記

平成29年4月3日(月)～7月13日(木)

◎入場無料

場所：横浜市中央図書館地下1階

内容：報告書『横浜の戦争 市民と兵士の記録』に掲載された資料などを展示します。

【新刊紹介】

『横浜市史資料室紀要』第7号

¥500【税込】

〈目次〉回想のヨコハマ元秘書課職員河合共世氏に聞く-素顔の飛鳥田一雄市長-/兵士となった市民の戦争体験-都市横浜の戦争-/昭和期横浜漁業の歴史的前提-/昭和初期における都筑郡西部の農家小組合-下川井農事実行組合の事例-

報告書『横浜の戦争 市民と兵士の記録』

¥500【税込】

〈目次〉1.写真編、2.体験記編、3.資料編(①軍事郵便、②軍隊手牒)、4.伊勢佐木警察署検視調査 写真・資料目録

横浜市史資料室の刊行物は、横浜市役所1階市民情報センター、横浜市中央図書館「ふれあいショップのげやま」、横浜開港資料館、

横浜市歴史博物館、横浜都市発展記念館で販売しています



【寄贈資料】

- ①鈴木健治郎様 鈴木健治郎家資料 28件
- ②名波重夫様 関東大震災横浜状況給葉書 16件
- ③井上寛子様、大野静子様 井上信道資料 17件
- ④山本博様 山本博家資料追加 5件
- ⑤大谷貴義様 最後の元近衛兵の体験記 1件
- ⑥馬場孝子様 金子清家資料追加 13件
- ⑦小野静枝様 小野静枝家資料追加 4枚
- ⑧吉村 義様 昭和24～36年シボレーパンフレット 他44件

⑨河合徹様 河合光栄資料(第二次) 218件

⑩横浜の空襲を記録する会様 写真戦中、戦後横浜市内米軍関係 他 8件

【3施設連携展示[YOKOHAMA 地図三昧]】

今年の春夏は地図三昧！横浜開港資料館・横浜都市発展記念館、横浜市史資料室の3施設が横浜の歴史地図にユニークな角度から迫る、連携企画展示を開催します。

①【横浜市都市発展記念館 企画展】

ようこそ！横浜地図ワールドへ
一まちの移りかわりが見えてくる
4月22日(土)～7月2日(日)

②【横浜開港資料館 企画展】

横浜・地図にない場所
～消えたものから見えてくる、ハマの近代
4月26日(水)～7月17日(月・祝)

③【横浜市史資料室 展示会】

昭和横浜の構想図・完成予想図
一過去に描いたヨコハマの未来
7月15日(土)～9月10日(日)
会場：横浜市中央図書館地下1階ホワイエ

◇ 休室日のご案内 ◇

4/17日(月)、5/15日(月)、
6/19日(月)～22日(木)、7/18(火)